



日販グループホールディングス

2023年度 決算報告

(2023年4月～2024年3月)

日販グループホールディングス株式会社 2024年5月30日

目次

1. 連結經營成績
2. 事業別成績
3. 計算書類
4. 補足資料
5. TOPICS

1. 連結経営成績

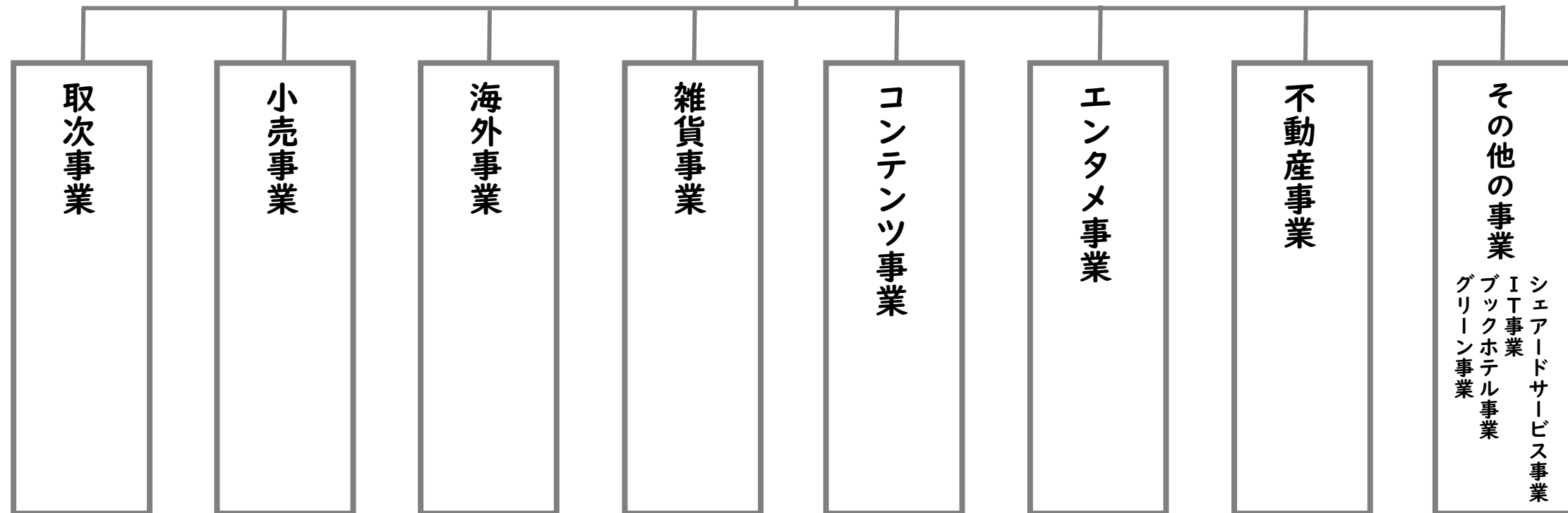
(2023年4月～2024年3月)

日販グループ事業体制図

<日販グループ経営理念>

人と文化のつながりを大切にして、すべての人の心に豊かさを届ける。

日販グループホールディングス株式会社



エグゼクティブ・サマリー

連結経営成績

減収・減益 赤字決算

売上高：4,021億円（前年比90.6%）

営業利益：▲16億円

経常利益：▲11億円

親会社株主に帰属する当期純利益：▲49億円

事業別 ハイライト

取次事業で▲36億円の経常損失だが、
小売事業で2億円、他の中核事業で26億円の経常利益を確保

- 取次事業は、売上の8割を占める日本出版販売で大幅減収・減益。赤字拡大。
- 小売事業は、減収ながら、販管費削減等により前期赤字から黒字へ回復。
- 海外・エンタメ事業は、過去最高売上高・経常利益を達成。
- 雑貨事業も増収増益、コンテンツ事業は減収減益も5億円超の経常利益を確保。

ESG

「日販グループ ESGレポート2023」を2023年7月に発行し、非財務情報を開示。

※ESGについての詳細は「[NIPPAN GROUP ESGレポート2023](#)」をご参照ください。



エグゼクティブ・サマリー

下半期は増益、86百万円の黒字を確保。業績回復の兆候。

(単位：百万円)

	上半期	下半期	通期
売上高	204,899	197,272	402,171
前年比	93.2%	88.0%	90.6%
経常利益	▲1,267	86	▲1,180
前年差	▲1,282	+261	▲1,021

連結経営成績

(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	402,171	444,001	▲41,829	90.6
売上総利益	59,563	59,310	+252	100.4
販売費及び 一般管理費	61,225	59,727	+1,497	102.5
営業利益	▲1,661	▲417	▲1,244	—
経常利益	▲1,180	▲158	▲1,021	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲4,934	▲218	▲4,716	—

- グループ連結は通期で減収・減益。赤字決算。下半期では86百万の連結経常利益を確保。
- 取次事業における▲36億円の経常損失が大きく影響し、二期連続の経常赤字。
- 海外事業・エンタメ事業は過去最高の経常利益を達成。雑貨事業も増収増益。小売事業も前期経常赤字から黒字に回復。コンテンツ事業は減収減益も、5億円超の経常利益を確保。
- 取次事業の事業構造改善費用等、計26億円の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は▲49億円。

事業別成績

(単位：百万円・%)

	売上高			営業利益			経常利益		
	2023年度	2022年度	前年比	2023年度	2022年度	前年比	2023年度	2022年度	前年比
取次事業	363,290	402,314	90.3	▲3,937	▲2,429	—	▲3,629	▲2,177	—
小売事業	50,870	53,724	94.7	56	▲158	—	182	▲191	—
海外事業	7,459	7,411	100.7	350	285	122.9	344	285	120.8
雑貨事業	3,198	3,194	100.1	110	84	130.6	194	87	220.9
コンテンツ事業	3,448	4,028	85.6	516	629	82.1	520	628	82.7
エンタメ事業	1,966	1,622	121.1	134	51	259.4	133	51	257.9
不動産事業	3,134	3,223	97.2	1,158	1,116	103.8	1,078	1,034	104.3
その他の事業	8,395	8,073	104.0	155	134	115.7	350	311	112.6
連結合計	402,171	444,001	90.6	▲1,661	▲417	—	▲1,180	▲158	—

2. 事業別成績

(2023年4月～2024年3月)

取次事業

(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	363,290	402,314	▲39,024	90.3
営業利益	▲3,937	▲2,429	▲1,508	—
経常利益	▲3,629	▲2,177	▲1,452	—

※日販決算の詳細は、別途リリースしている日販の決算資料をご参照ください。

- 取次事業は減収減益。▲36億円の経常損失。
- 取次事業の売上の8割を占める日本出版販売は、取引書店の売上減少・閉店に加え、取引変更が影響し、大幅減収。
コスト削減に努め、販売費及び一般管理費は前年比▲6%と抑制するも、売上総利益の減少をカバーしきれず▲39億円の経常損失（日販単体）。
- カルチュア・エクスペリエンス（旧MPD）は2023年10月1日にCCCよりTSUTAYA FC事業を統合し再始動、統合効果もあり黒字で着地。

小売事業

(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	50,870	53,724	▲2,854	94.7
営業利益	56	▲158	+214	—
経常利益	182	▲191	+373	—

- 小売事業は減収増益、前年から転じて黒字を確保。
- 売上構成比の高いBOOK、レンタルが▲33億円と大幅に売上減少したことが影響し減収。
- 駿河屋は新たに5店舗出店、全体で売上が17億円（前年差+9億円）と伸長。
- 2023年10月1日付で事業再編（会社合併）を実施。経営基盤強化を図ると共に、本部機能の集約や整理によるコスト削減を進め黒字転換。

海外事業

(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	7,459	7,411	+48	100.7
営業利益	350	285	+65	122.9
経常利益	344	285	+59	120.8

※国内企業の海外駐在員向けeコマース。書籍・雑誌・食品・雑貨・医薬品などが対象。
駐在員・ご家族の生活の質を向上させるESG施策として多くの企業様に採用いただいている。

●海外事業は増収増益。3期連続で、最高売上・経常利益を更新。

●業界トップシェアを誇るCLUB JAPAN(※)事業は、3期連続最高売上・利益を達成。
海外駐在員向けの検診サービスを提供するSaveExpats社と業務提携し、健康経営サポート領域まで範囲を拡大。

●3月発売の中華古風BL「千秋」二巻の売上が好調。一巻発売時に比べ、自社出版レーベルサイト訪問者数が16倍に拡大。

(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	3,198	3,194	+4	100.1
営業利益	110	84	+26	130.6
経常利益	194	87	+107	220.9

※ファニチャー、ハウスウェア、ガーデンツール、キッチンツール等、生活にまつわるあらゆるDULTONアイテムを楽しめる住宅の販売や、リノベーションを提供する事業。2024年1月に親会社である(株)ダルトンへ、子会社のダルトンホーム・ディベロップメント(株)より事業譲渡。

●雑貨事業は増収増益。

●卸売は売上減少も、客足の戻った直営店が前年比102%、EC部門においてAmazon向け取引が大きく伸び117%と好調で増収。

●円安傾向を踏まえ、新商品・既存商品ともに上代価格を見直し。原価率が改善され、増益に寄与。

●ダルトンホーム(※)では6棟完工（埼玉2棟・岐阜2棟・鹿児島1棟・熊本1棟）、累計14件販売。下期よりリノベーション事業もスタート。

コンテンツ事業

(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	3,448	4,028	▲580	85.6
営業利益	516	629	▲113	82.1
経常利益	520	628	▲108	82.7

●コンテンツ事業は減収減益も、不動産事業に次ぐ黒字を確保し、変わらずグループ成長を牽引。

●売上拡大が続いていた海外コミックの国内配信事業「Rush!」の減少が影響し減収。

●描き下ろし作品は、編集人員および制作数を増加した一般ジャンルが、前年比135%と成長。

●縦読みフルカラーコミックレーベル「JAMTOON」からリリースした「ビジネス婚—好きになったら離婚します—」が実写ドラマ化が決定。

(2024年5月23日より放映開始)

エンタメ事業

(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	1,966	1,622	+344	121.1
営業利益	134	51	+83	259.4
経常利益	133	51	+82	257.9

- エンタメ事業は増収増益。日販セグモ設立以来、過去最高の売上高・経常利益を達成。
- 検定事業では、3期ぶりの国家試験運営受託の他、新規受託も含め52件の検定を開催し、売上・粗利が拡大。検定から派生し、商品開発プロジェクトを推進。「調味料検定」合格者が商品開発に携わった新商品を発売。
- イベント事業では、リアルで16件のイベントを開催し、3億円の増収。「パンのフェス2024春 in 横浜赤レンガ」では約15万人を動員。

不動産事業

(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	3,134	3,223	▲89	97.2
営業利益	1,158	1,116	+42	103.8
経常利益	1,078	1,034	+44	104.3

- 不動産事業は減収増益、堅調な利益でグループを下支え。
- 新お茶の水ビルディングの賃料収入減少が影響し減収も、設備維持費用を抑制したことで増益。
- 新お茶の水ビルディングを含むオフィスビル4棟の空室率は引き続き1%を切る水準で堅調に推移。

その他の事業

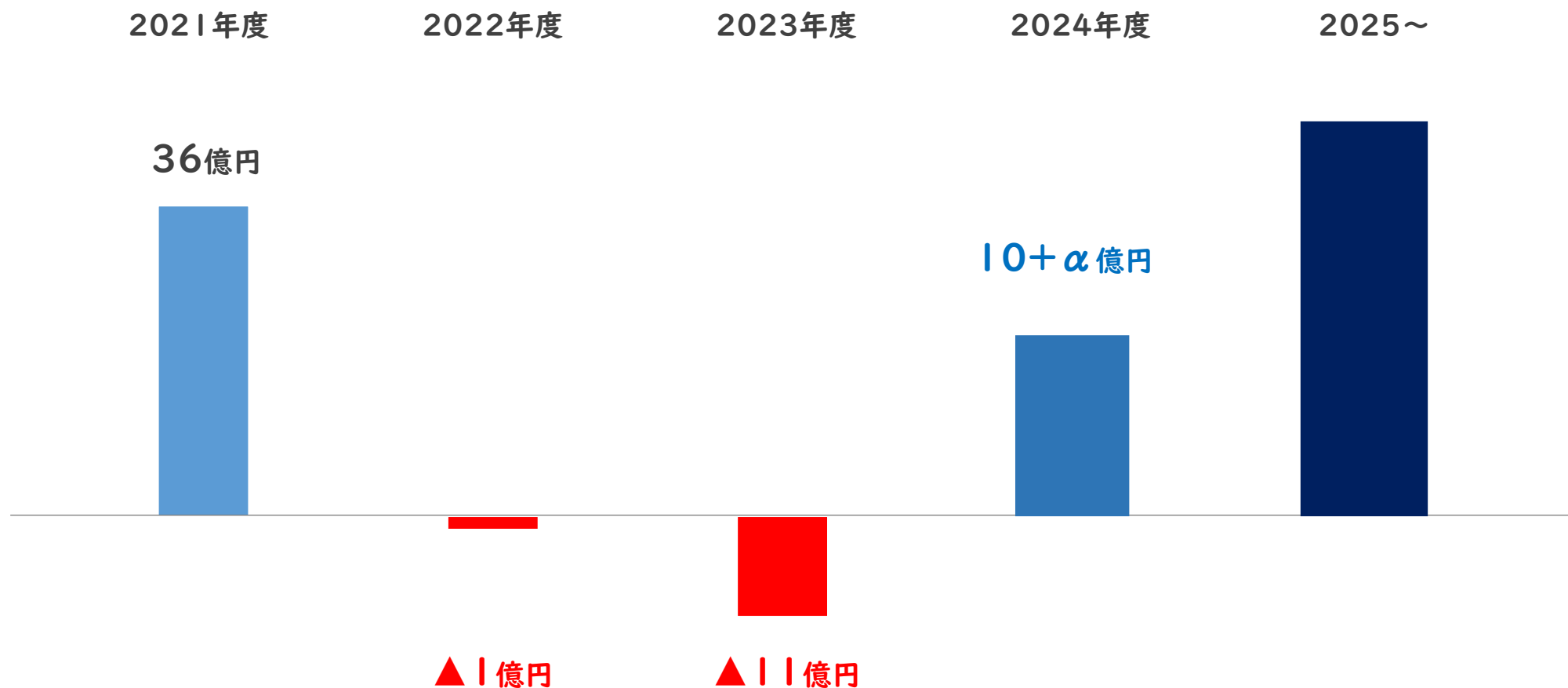
(単位：百万円・%)

	2023年度	2022年度	前年差	前年比
売上高	8,395	8,073	+322	104.0
営業利益	155	134	+21	115.7
経常利益	350	311	+39	112.6

- グループ内外のIT事業を担う日販テクシードは、医療などの新規顧客開拓が進んだ外販事業の売上拡大により増収。22年度にリリースした「CONTEO」が順調に導入社数を拡大。出版業界外にもサービス提供開始。
- 日本緑化企画では、基盤となるレンタル事業は前年比102%と6期連続伸長。
- ASHIKARIが運営する「箱根本箱」は、空調工事による休業期間があり減収も、同期間を除くと稼働率は向上。インバウンド客の増加もあり、平均客単価は過去最高を記録。

今後に向けて

24年度は連結経常利益 十億円を超える規模のV字回復を実現



3. 計算書類

(2023年4月～2024年3月)

連結計算書類（貸借対照表）

（単位：百万円）

資産の部				負債の部			
科目	2023年度	2022年度	前年差異	科目	2023年度	2022年度	前年差異
	金額	金額			金額	金額	
流動資産	178,476	190,061	▲11,585	流動負債	188,293	195,594	▲7,300
現金及び預金	37,897	35,735	2,161	支払手形及び買掛金	116,645	118,482	▲1,836
受取手形、売掛金及び契約資産	70,531	79,318	▲8,786	電子記録債務	6,833	8,945	▲2,111
有価証券	3,399	3,002	397	短期借入金	15,022	13,622	1,400
棚卸資産	31,288	30,933	354	未払法人税等	273	440	▲166
返品資産	27,935	34,361	▲6,426	返金負債	30,767	37,924	▲7,156
その他の流動資産	7,999	7,768	230	諸引当金	1,358	1,076	281
貸倒引当金	▲575	▲1,059	483	その他の流動負債	17,391	15,102	2,288
				固定負債	22,909	21,091	1,818
固定資産	86,736	85,013	1,722	長期借入金	1,796	2,328	▲532
有形固定資産	56,550	55,515	1,035	退職給付に係る負債	4,334	5,460	▲1,125
無形固定資産	3,860	2,270	1,589	その他の固定負債	16,779	13,302	3,476
投資その他の資産	26,435	27,395	▲959	負債合計	211,203	216,685	▲5,482
貸倒引当金	▲110	▲167	57				
				純資産の部			
				株主資本	34,212	39,498	▲5,286
				資本金	3,000	3,000	—
				利益剰余金	33,087	38,368	▲5,280
				自己株式	▲1,875	▲1,870	▲5
				その他包括利益累計額	14,353	14,007	346
				非支配株主持分	5,442	4,883	559
				純資産合計	54,008	58,389	▲4,380
資産合計	265,212	275,074	▲9,862	負債及び純資産合計	265,212	275,074	▲9,862

連結計算書類（損益計算書）

(単位：百万円・%)

科目	2023年度		2022年度		前年比	前年差異
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高合計	402,171	100.0	444,001	100.0	90.6	▲41,829
売上	408,341		451,876		90.4	▲43,534
売上割戻	6,169		7,874		78.4	▲1,704
売上原価	342,608	85.2	384,691	86.6	89.1	▲42,082
売上総利益	59,563	14.8	59,310	13.4	100.4	252
販売費及び一般管理費	61,225	15.2	59,727	13.5	102.5	1,497
販売費	19,617		20,538		95.5	▲921
一般管理費	41,607		39,189		106.2	2,418
営業利益	▲1,661	▲0.4	▲417	▲0.1	—	▲1,244
営業外収益	843	0.2	481	0.1	175.1	361
受取利息	115		118		97.1	▲3
その他の収益	728		363		200.5	364
営業外費用	361	0.1	223	0.1	162.2	138
支払利息	94		81		116.2	13
その他の費用	267		141		188.5	125
経常利益	▲1,180	▲0.3	▲158	▲0.0	—	▲1,021
特別利益	73	0.0	2,238	0.5	3.3	▲2,164
特別損失	2,692	0.7	995	0.2	270.5	1,697
税金等調整前当期純利益	▲3,799	▲0.9	1,083	0.2	—	▲4,883
法人税、住民税及び事業税	343		930		36.9	▲586
法人税等調整額	366		755		48.5	▲389
当期純利益	▲4,510	▲1.1	▲602	▲0.1	—	▲3,907
非支配株主に帰属する当期純利益	424	0.1	▲383	▲0.1	—	807
親会社株主に帰属する当期純利益	▲4,934	▲1.2	▲218	▲0.0	—	▲4,715

4. 補足資料

連結子会社一覧（2024年3月31日時点）

事業	会社名
取次事業	日本出版販売株式会社
	カルチュア・エクスペリエンス株式会社
	株式会社MPDパートナーズ
	出版共同流通株式会社
	日販物流サービス株式会社
	中三エス・ティ株式会社
	株式会社B・Story
	株式会社NKメディアリテイリング
	株式会社ひらく
	株式会社学研ステイフル（★）
小売事業	NIC株式会社
	NICリテールズ株式会社（子会社10社を含む）
	NICパートナーズ株式会社
	株式会社いまじん白揚
	株式会社駿河屋BASE

事業	会社名
海外事業	日販アイ・ピー・エス株式会社
雑貨事業	株式会社ダルトン
	ダルトンホーム・ディベロップメント株式会社
コンテンツ事業	株式会社ファンギルド
	株式会社FGパブリッシング
エンタメ事業	日販セグモ株式会社
その他の事業	日販ビジネスパートナーズ株式会社
	日販テクシード株式会社
	株式会社ASHIKARI
	日本緑化企画株式会社

連結子会社35社（★は新規連結）

連結主要経営指標の推移

(単位：百万円・人・社)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	515,922	521,010	504,993	444,001	402,171
営業利益	2,474	4,151	2,840	▲417	▲1,661
経常利益	2,441	4,420	3,648	▲158	▲1,180
親会社株主に帰属する 当期純利益	781	2,439	1,391	▲218	▲4,934
純資産額	55,649	58,767	59,495	58,389	54,008
総資産額	261,070	259,245	289,597	275,074	265,212
従業員数 (他 年平均臨時雇用者数)	2,656 (5,714)	2,630 (5,519)	2,557 (5,376)	2,408 (5,190)	2,726 (5,174)
連結対象子会社数	27	34	34	35	35

5.TOPICS



【取次事業】日本出版販売

静岡県長泉町と「本を起点とした街づくり」に関する包括連携協定を締結



ボイスフレンド

【取次事業】 日本出版販売

MR技術を活用した店頭集客ソリューション「ボイスフレンド」を企画・開発



【取次事業】 ひらく

名古屋の新ランドマークタワー中日ビルに入場料のある本屋「文喫 栄」オープン



【取次事業】 ひらく

東急プラザ原宿「ハラカド」に雑誌の図書館「COVER」オープン

紀伊國屋書店様、カルチュア・コンビニエンス・クラブ様と

書店主導の出版流通改革に取り組むため「株式会社ブックセラーズ&カンパニー」を設立

BOOKSELLERS



& CO.

ブックセラーズ&カンパニー

【取次・小売事業】日本出版販売・NIC

2024年3月から取り組みを開始した書店は店頭POS 前年比115.8%を達成



TSUTAYA BOOKSTORE 恵比寿ガーデンプレイス店

【取次事業】学研ステイフル

文具・玩具の企画開発を行う学研ステイフルがグループイン



TSUTAYA Trading Card 錦糸町店

【取次事業】カルチャア・エクスペリエンス

トレーディングカード直営店を2店舗オープン



【取次事業】カルチャア・エクスペリエンス

新FC業態としてライフスタイルジム「TSUTAYA Conditioning」をオープン

ネットで査定!お店買取サービス
O2O(オーツーオー)買取サービス



SURUGAYA SPECIALTY STORE



SURUGAYA SPECIALTY STORE

安心査定 × 高価買取

ガシャポンのデパート



駿河屋 町田旭町店

【小売事業】駿河屋BASE
研修拠点機能を備えた直営店を新規オープン

nail salon TN

ネイルサロンティーエヌ

ネイルサロン ティーエヌ 佐賀TSUTAYA積文館書店 佐大通り店

【小売事業】NIC（グループ書店）

ネイルサロンティーエヌを2店舗新規出店。利益拡大に貢献



【海外事業】日販アイ・ピー・エス

CLUB JAPANはSaveExpats社と業務提携、健康経営サポート領域まで拡大



【海外事業】日販アイ・ピー・エス

中華古風BL「千秋」IPマルチ展開を見据え、グッズなどの商材拡大



【雑貨事業】ダルトン

2軒目のフルリノベーション物件となる国分寺は5月より内覧スタート



【コンテンツ事業】 ファンギルド

JAMTOON から 「ビジネス婚 -好きになったら離婚します-」 実写ドラマ化決定



【エンタメ事業】日販セグモ

調味料検定合格者が開発に参加した「はちみつレモンと塩糍のドレッシング」を発売



【エンタメ事業】日販セグモ

「パンのフェス2024春 in 横浜赤レンガ」は15万人を動員

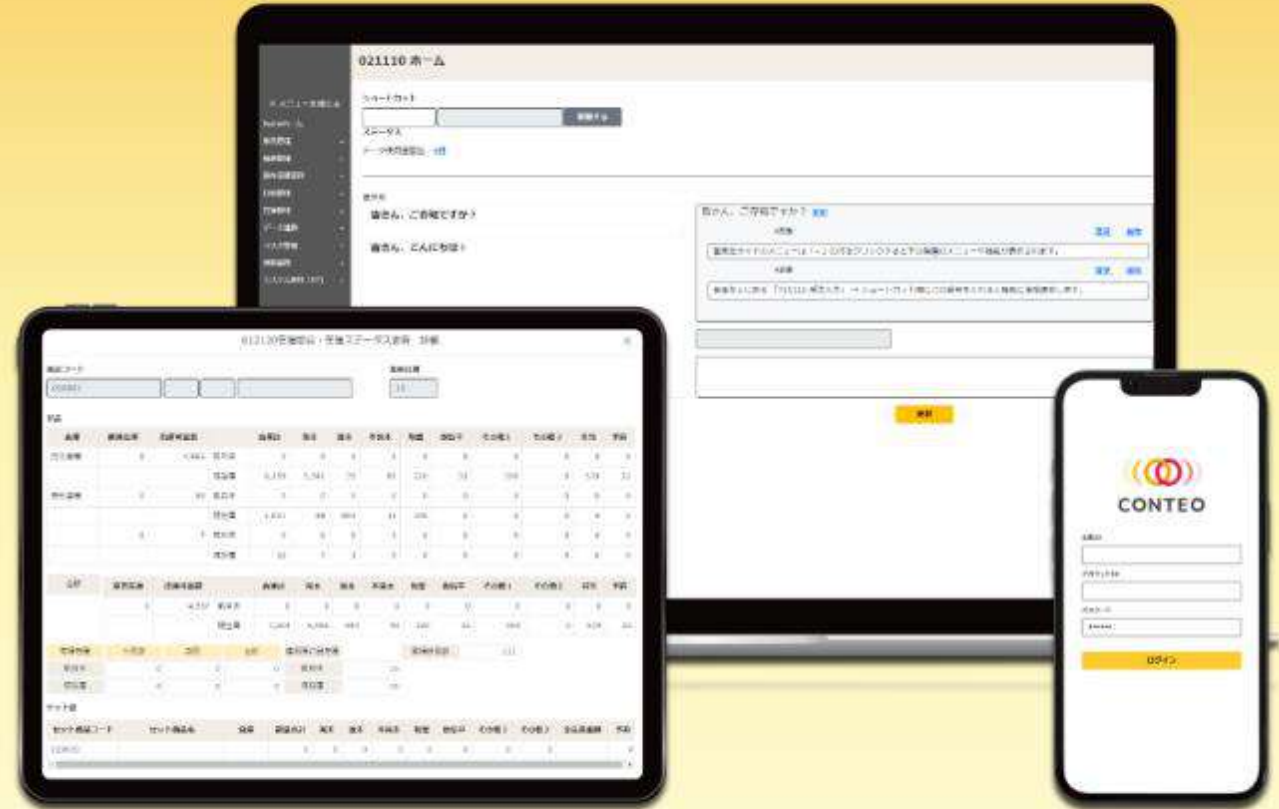
「販売」から「AI分析」まで、変化に対応するクラウド型出版社システム

CONTEO

出版社システム
開発経験
35年

出版社システム
導入実績
350社

初期費用
0円



【その他の事業】日販テクシード

「CONTEO」が出版業界外でも採用



ONE ECO PROJECT

「ONE ECO PROJECT」ってなんだろう

それは書店からはじまるエコ活動。
大好きな物語を読む時のように
ワクワクした気持ちで、エコを楽しんで欲しい。
気軽に、もっと身近に、ずっと続けられる
そんなエコ活動のきっかけを
私たちは創ります。

あなたの「好き」は、地球のための
第一歩。



を気軽に、もっと身近に、
と続ける。

有隣堂 横浜駅西ロジヨイナス店

※2024年5月19日時点

地球のための第一歩。

大好きな作品と、
エコバッグ。

-本袋(大)-
縦向きタイプ
税込 825円

-本袋-
横向きタイプ
税込 583円



サイズも新たに。
-本袋(大)-
ほんぶくろ(大)

【ESG】日本出版販売

ONE ECO PROJECT 「本袋」累計販売数24万枚突破 (売上の一部を環境保全団体に寄付)

あなたの「好き」は、
地球のための
第一歩。



幕張 蔦屋書店

【ESG】日本出版販売

※中庄株式会社とアトリエヤマダがタッグを組むことで可能性を広げるアートプロジェクト

ONE ECO PROJECT 廃材を活用したワークショップ「chokipetasu」開催



【ESG】日本出版販売

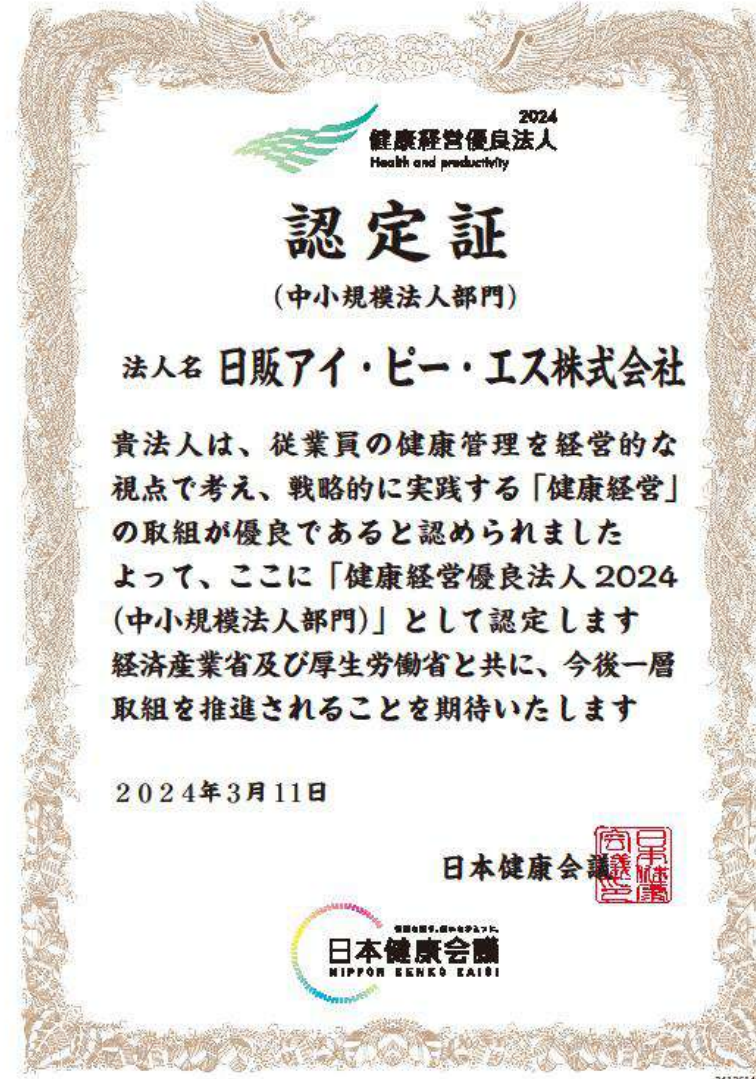
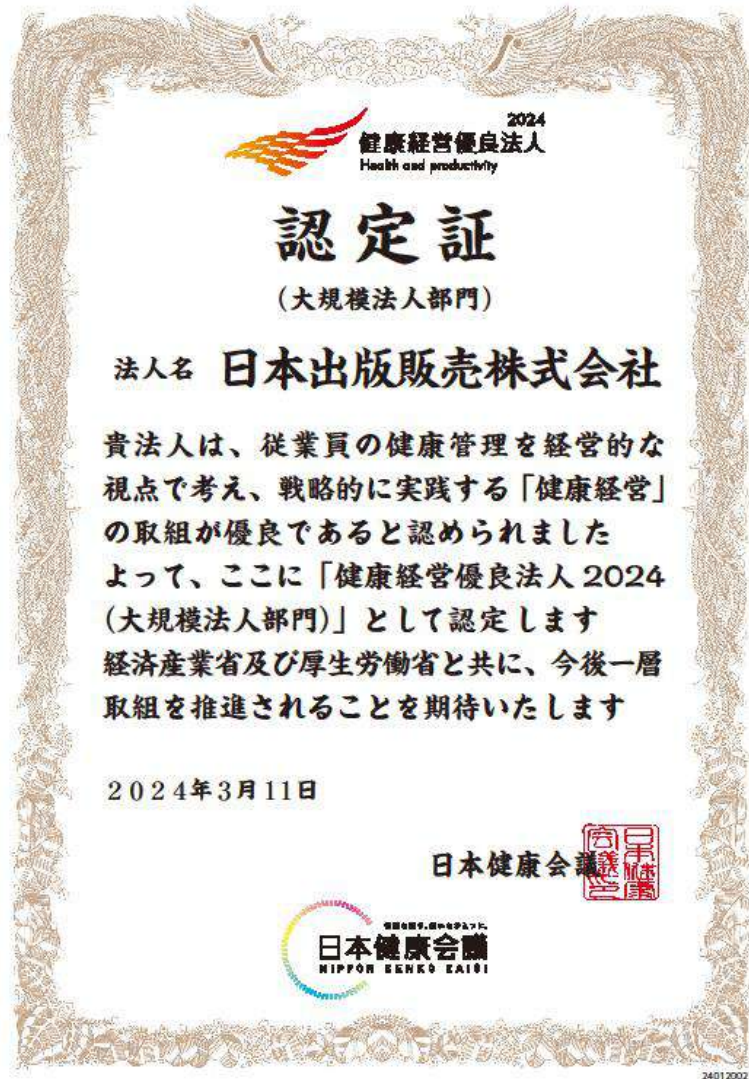
日販協賛の「リラックマ×スポGOMI」は全国10都市での開催計画を完了



撮影 鈴木文人

【ESG】日販グループホールディングス

オチャノバが国際デザインアワード「レッドドットデザインアワード2023」受賞



【ESG】日本出版販売／日販アイ・ピー・エス
健康経営優良法人2024に認定

ブックサンタ 2023

紀伊國屋書店 笹塚店では
ブックサンタ開始 9/23~終了の12/24まで
190冊の本をサンタさんたちから
お預かりいたしました...!
たくさんのおステキな本と たくさんのおステキな想いを
ありがとう
ございました!!!



紀伊國屋書店 笹塚店

【ESG】日本出版販売

日販が参画する社会貢献プロジェクト「ブックサンタ」寄付冊数が12万冊超